

世界遺産登録への道

Vol.9

「快適な遺跡を目指して」 ―白鳥館遺跡の整備―

前回は遺跡周辺に整備する、トイレなどの便益施設について説明しましたが、今回は、白鳥館遺跡の史跡内部の整備について紹介します。

世界遺産登録推進室は、18年度から3力年の計画で白鳥館遺跡の史跡整備に取り組んでいます。整備といっても大掛かりなものではなく、①「史跡の価値をより分かりやすく伝える」と②「今後増加が見込まれる史跡来訪者と、周辺住民の生活スペースとを区分する」ことを目的とした簡易なものです。

①については、うつそうとした木立に囲まれて北上川が見通



樹林整備後の遺跡からの眺め

せない上、説明板などが設置されておらず、遺跡の価値が分かりにくいという問題点がありました。そこで、昨年度は、樹林の間伐や枝打ちを行って、遺跡からの眺望を確保しました。樹林を手入れしたことにより、北上川が見渡せるようになり、遺跡の本質的な価値である北上川との関わりが体感できるようになりました。また同時に史跡の案内板も設置し、遺跡全体の解説を表示しました。来年度以降は、史跡内の堀跡などに解説板を設置する予定です。

休憩のためのベンチや、崖面への安全柵、宅地周囲の目隠し植栽も設置します。これらの工事は、本年度から来年度にかけて行う予定です。



史跡内部の便益施設と見学ルート

②については、史跡内に所在する民家と、遺跡部分との境界が分かりにくいという問題点を解決するため、地元の皆さんとの協議を経て、遊歩道を整備することにしました。遊歩道は、史跡の価値を損なわない砂利道や飛び石によって、長靴などを着用しなくても気軽に来訪できるようにするとともに見学ルートであることを示します。また、

休憩のためのベンチや、崖面への安全柵、宅地周囲の目隠し植栽も設置します。これらの工事は、本年度から来年度にかけて行う予定です。

金融機関などのキャッシュカードでは、これまで主に磁気カードと呼ばれる仕組みを採用していました。磁気カードは、カセットテープなどと同じように、情報をそのままカードの磁気テープ部分に記録する仕組みです。読み取り装置さえあれば、記録された情報を簡単に解読することができます。このため、外部から記録された情報を読み取る装置を作り、偽造したキャッシュカードやクレジットカードを悪用する事件が発生しています。

IT社会のパスポート・住民基本台帳カード

住基カードの高い安全性

近年、キャッシュカードなどの偽造が相次ぎ、その対策としてICチップ（集積回路・超小型のコンピュータ）を内蔵したICカードへ切り替えが進んでいます。住基カードは当初からICカードを採用し、記録された情報を守る高い不正防止機能を備えています。

これに対しICカードは、ICチップに内蔵されたマイクロプロセッサ（超小型の情報処理装置）により、情報を暗号化して処理や記録をします。

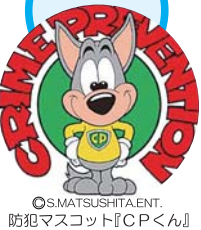
さらに、住基カードは情報をいくつかの領域に分けて記録しています。領域はそれぞれアプリケーションファイル、ウォールという壁で完全に分かれているので、カードを使用し受けるサービスに必要な情報、勝手に読まれることはありません。

こうした高い不正防止機能を備えることで、市民の皆さんが安心して使用できるよう設計されています。

（ことば）**アスキーショ**
ンファイアウォール
住基カードに記録された情報を不正に読み取られないように保護する仕組み。住基カードを使って受けるサービスと関係のない情報を読み取れないよう、権限のないものが情報に接触することを防ぐ防護壁の役割を持つ。

問い合わせ＝本庁情報政策課（内線 323）

地域安全情報



©S.MATSUSHITA, 防犯マスコット『CPくん』

年末年始特別警戒活動が始まります

■家庭でも防犯の工夫を

何かとあわただしくなる年の瀬です。皆さん一人一人が十分注意して事件・事故のない年末年始を迎えてください。

会社などは長期休暇になり、家庭でも旅行や帰省で留守にすることが多くなります。防犯対策は、すべてのドア（窓）に鍵を掛けたからといって安心せず、「この家に入るのは無理だ」と思わせる工夫をしてください。ドロボウは侵入に時間がかかるのを嫌がります。時間の目安

は約5分間。侵入するのに5分以上かかる場合は、大半のドロボウはあきらめるそうです。また初詣などで混雑する所では、スリの被害に遭わないよう持ち物に注意しましょう。

【ドロボウを防ぐ工夫】

▼ドアはピッキング（特殊用具を使った開錠）が困難なもので、ワンドアツロックに▼出かける時は近所に一声掛けて、郵便物や新聞は配達されないよう連絡を

▼2階などへの足場になるようなものを外に置かない
▼できれば防犯機器の活用を。センサーライト、防犯ガラス、防犯カメラ、ガードプレートなど

安全活動に専門家がアドバイス

県は安全安心なまちづくりを推進するため、地域で安全活動を行っている団体に「地域安全アドバイザー」を派遣しています。「防犯パトロールの匠」「地域安全マップづくりの匠」「建物防犯の匠」「落書き消しの匠」の分野に対応します。

■問い合わせ＝県環境生活企画室（☎ 019-629-5331）または県ホームページ（<http://www.pref.iwate.jp/~hp030105/>）

おえ気ですか 市長です！



奥州市長
相原正明

11月5日から16日にかけて、本年度の市政懇談会を市内5自治区で行いました。まず、「自治基本条例」「総合水沢病院などの医療問題」「岩手競馬」について説明し、このテーマや「そのほか何で

あります。今後さらに市民の皆様のご意見をお聞きしながら、十分な理解と合意を得て進めたいと考えております。また、総合水沢病院の経営問題に関しては、国（総務省）の経営アドバイザーの提言を受け止めながら、早期に抜本的対策を打ち出した

いと考えております。さらに、岩手競馬については、本年度から新ルールでスタートし、徹底した経費節減により、年度末の経常損益が黒字

となる見込みとなっております。今後、民間委託の拡大などを含めて、一層の経営努力をしてまいります。そのほか、貴重なご意見をたくさん頂きましたので、市政に生かしてまいります。

も」の課題について、活発な意見交換を行いました。質問・意見にお答えする形で申し述べましたが、自治基本条例については、市民の方々からなる検討委員会の中

間報告が出されている状況に

お元氣 レシピ

地産地消応援メニュー ②

キーマカレー



材料（5人分）
豚ひき肉……………75g
セロリ・ニンジン……………各25g
玉ネギ……………中1個
水煮大豆・グリーンピース…各25g
木綿豆腐……………50g
おろししょうが・おろしにんにく……………各小さじ½
バター・赤ワイン・トマトケチャップ・中濃ソース・コンソメ……………各小さじ1
カレールー・粉チーズ……………各20g
塩・こしょう……………少々

作 り 方

- ①セロリ、玉ネギ、ニンジンをみじん切りにし、豆腐をつぶす
- ②バターを熱し、豚ひき肉をおろしにんにく・しょうが、塩、こしょうと一緒にいためる。
- ③肉の色が変わったら、①の野菜を加えていためる
- ④水煮大豆、豆腐を加えていため、水を加えて煮る
- ⑤材料がやわらかくなったら調味料類を入れ、グリーンピースを加えてから味調整をする

わたしたちが作りました

江刺学校給食センター

地元産の大豆と木綿豆腐を使用し、子どもたちが苦手な野菜はみじん切りにして食べやすくしています。

